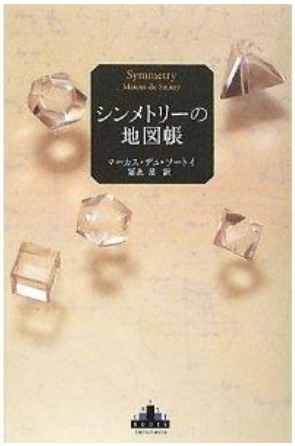
Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第11回（7/3）　北詰正顕先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

シンメトリーの地図帳



著者：マーカス・デュ・ソートイ　出版社：新潮社

コメント：代数学の一分野である群論の魅力を伝えている，数学ノンフィクションです。群論に関連するシンメトリー（対称性）の美しさに加え，数学的な発端である方程式についての（有名な）ガロアの物語から，20世紀に結実した大定理（有限単純群の分類）までを，読みやすく魅力的に描いています。素数・数論を題材にした第一作「素数の音楽」合わせて推薦したいと思います。

Book2

群論の味わい

著者：David Joyner　出版社：共立出版

コメント：群論のパズル的な部分に重点を置いた本で，「置換群で解き明かすルービックキューブと15パズル」という副題がついています。読み物ではなく，数学書ですので，すらすら読めるという本ではありませんが，群論の入門書としては（数学を専門とする学生以外でも）使える本だと思います。

Book3

ガロア　天才数学者の生涯

著者：植田宏昭　出版社：中公新書

群論はn次方程式の解法の研究の中から，天才ガロアの画期的な理論から生まれました。この理論の先駆性の故に，ガロアの生前（享年20）には全く理解されなかったという悲劇と共に，永く語り継がれることでしょう。ガロアに関する本は多く，図書館にも沢山並んでいると思います。ここでは，比較的新しく手に取りやすいものを選びました。